

# 今日の課題：水害に備えて、地域の人々はどのような取り組みをしているのだろう。

## 水害を防ぐための設備（水防倉庫）

**水防倉庫**

水害に備えて、土のうや防水シートなどが様々なものが備えてあります



水防倉庫の外観



水防倉庫の中の様子



土のう

水防倉庫の様子

**水防倉庫の備品**

土のうってなに？

土のうとは、袋の中に土や砂を入れて、いくつも積み重ねることで、水をせき止めるなど（水防工法といいますが）の効果をはたかせるものです。大雨で水があふれそうなときに活用します。



土のうは、袋の中に入れていくつも積み重ねることで、水をせき止めるなど（水防工法といいますが）の効果をはたかせるものです。



土のうを使った水防工法

**水防倉庫の備品の活用**

土のうを使った水防工法

水害が発生しそう時には、土のうをたくさん使って、堤防から水があふれたりするのを防ぎます。またシートの固定などにも利用します。



堤防に土のうを積み上げて、あふれた水を止めるように使います。またシートの固定などにも利用します。

## 地域の人々はどんな思いを持って取り組みをしているのだろう？

地域の安全を守る人たち 資料4

**水防団の取り組み**



水防団員

私たち水防団は普段は別の仕事をしながら、自分たちの地域を水害から守るために活動しています。普段から訓練や点検などを行い、陸開の操作訓練なども行っています。



陸開の操作訓練の様子

平成30年7月豪雨では、市役所からの連絡を受けて、団員が集合しました。陸開や樋門などのゲートを閉める作業を行い、避難勧告が解除されても水害の可能性がなくなるまでは現場で待機していました。昼間は普通に仕事をしながら、3日連続で夜間作業をしたため、とても大変でした。

この大雨の時、避難していない住民がたくさんいました。雨による水害は予め予測できるため、早めの避難をして欲しいです。

**水害を防ぐ施設【陸開(りっこう)】**

陸開ってなに？

陸開とは川からあふれた水が町に流れないように扉を切るような施設です。ふだんは人や車が通ることができますが、川の水位があふれそうになると陸開を開ける作業を行います。



陸開の様子



陸開の操作の様子

**まとめ**

- 水防団の人たちは、自分達の町を自分達で守りたいという思いをもって、訓練や水害のときの活動「共助」を行っている。